

石山・東石山 第2回ワークショップの概要

1. 現状の課題

(1) 施設全般

① 立地・アクセス

- 赤道や線路が境目になっており、それを越えて移動する場所は心理的にも距離的にも遠く感じる。小学校区ごとの施設を利用しているので、自分の地区以外の施設のことを互いに知らないのが現状だと思う。
- どのエリアを対象に考えるかで中心は変わるし、配置バランスの良しあしも変わってくると思う。例えば、石山・東石山地域全体から見れば石山地区センターは端にあって配置バランスが悪いのかもしれないが、南中野山の住民にとっては立地が良く、バランスも良い。

② 活動・利用状況

- 利用率の向上を目指すのであれば、現状をデータに基づいて把握した上で、目標値を定めて策を考える必要があると思う。

(2) 石山地区センター

- 駐車スペースが少ないために、イベントの定員が限定されてしまうことがあるのが残念だ。近隣の学校での行事の際にここを使う人がいるので、更に駐車スペースが少なくなってしまう。
- 第2駐車場が道路を挟んで向かいにあるため、保健福祉センターを使う際に赤ちゃん連れの人にとっては施設までの移動が不便だ。
- 本を読みながら勉強する時や新聞を読みたい時に使える閲覧・学習スペースが少ない。新聞を読むスペースは廊下移動されている状況だ。
- 中央図書館から本を借りてきて、ここで返却するという使い方ができるので使い勝手が良い。

(3) シルバーピア石山

- シルバーという名称で高齢者のための施設というイメージがあるのは確かにそうだと思う。変更できるのなら検討してはどうか。
- 学習スペースもなく、Wi-Fi も整備されていないという意見が出ているが、6 月中には Wi-Fi が整備される。徐々にではあるが若者も利用しやすくなると思う。

(4) 石山南まちづくりセンター

- 建物が老朽化しているという意見があったが、改修工事がされているので老朽化しているとは感じない。
- 越後石山駅の改修が行われると聞いたので、駅がどんな施設になるかによって、センターのあり方が変わると思う。

(5) 東石山コミュニティハウス

- 施設が新しく綺麗で、近くにコンビニや商業施設もあるため、近隣の人にとって使いやすいのではないかと。
- 公共施設は全般的に駐車場が少ないと感じるが、特に東石山コミュニティハウスは駐車場が狭く、車で行きにくい。

2. 公共施設の再編に期待すること・配慮してほしいこと

(1) 期待すること

① 多機能施設

- バリアフリー化した、ワンストップでいろいろなことができる多機能な施設ができれば、高齢者や障がい者にとって便利で使いやすいと思う。

② 子どもの居場所

〈子どもの遊び場〉

- 子ども達の遊び場が足りていない。他の市にできる屋内子ども遊戯施設のような、雨や雪の日でも体を動かして遊べる全天候型の施設があると良い。子育て世代の利用の増加につながる。
- 小学校区ごと、少なくとも中学校区ごとに子ども達が集える場所があると良い。学校の空き教室の活用を検討してはどうか。ただ、近年は不登校の子どもが増えているので、学校外にも居場所が必要になると思う。
- 今の子ども達は室内でゲームをしたり、スマートフォンを見たりしていて、昔のように外で皆で遊ばなくなった気がする。子ども達自身が外遊びできる場を求めているのか疑問だ。

〈中高生の居場所〉

- 学生が勉強するためのスペースが足りていないので、学習室を設けてほしい。身近で広くて使いやすい学習スペースができれば、公共施設を使う学生が増えると思う。
- 中高生の居場所が足りない。学校が休みの時も勉強ができたり、時間を過ごせる場所ができると良い。

③ 多世代の居場所

- ショッピングセンターに1日中いる人がいると聞くくらいなので、猛暑の時に涼むこともできる高齢者の居場所は必要だ。高齢者のための施設と子どものための施設を同じ建物にできれば多世代交流の場にもなる。
- 予約しないと使えない専用の部屋だけでなく、ふらっと来ても誰でも使えるスペースがあると良い。

④ 図書館

- 図書館だけの機能ではなく、ほんぽーと中央図書館のような誰でも気軽に好きなことができ、冷暖房完備でくつろげる憩いの場としての機能も備えた図書館にしてほしい。蔵書を増やし、本を読むスペースや学習スペース、フリースペース等が充実できると良い。

⑤ 運動できる場所

- 地域内にはスポーツセンターのような機能がないのでつくってほしい。高齢者が健康でいるためにも運動できる場は必要だし、多様な世代が使えれば交流の場にもなる。
- 会議室以外に軽い運動ができる小体育館のような場があると若者も利用するのではという意見があったが、各施設内にダンスができる規模の部屋があり、学校開放もあるので小体育館の機能は満たされていると思う。新たに増やすよりも、既存施設の使い方や利用できる時間帯を工夫した方が良い。

(2) 配慮してほしいこと

① 再編の進め方

- 施設再編で新しい施設をつくるとしたら、統合される施設をすぐになくしてしまうのではなく、社会状況や地域の状況を見ながら段階的に進めていけると良い。地域の人たちのこれまでの生活が変わることなく、必要なサービスが維持されるように配慮してほしい。

② 立地・アクセス

- 区バスやコミュニティバスの充実など、公共施設を再編することでこれまでよりアクセスが不便になる人への対策が必要だ。
- 今後さらに高齢化が進むので、車を持っていない人の交通の利便性に配慮してほしい。この地域は電車の本数が少ないので、区バスの本数を増やすなど電車以外の対策も考えてほしい。
- 再編にあたっては駐車場の確保がポイントになると思うので、十分な駐車場が確保できるかを検討した上で立地を考えてほしい。

- 道路が狭かったり、踏切がある地域なので、良い施設ができたとしても、アクセスしづらいことや混雑してしまうのではないかと心配だ。

③ 利用方法

- 施設が新しくなることで、施設の予約方法などの利用方法が一気に変わってしまい、これまでの利用者が使いにくくなることは避けたい。例えば、予約がネットのみになったら戸惑う人がいるだろう。

3. 課題解決に向けて取り組むこと

(1) 施設の再編

〈リノベーションなどによる現状の維持〉

- 施設再編をすると、どうしてもこれまでよりもアクセスが不便になる地域が出てしまう。公共施設は住まいから近いからこそ利用しやすい。大きな施設を1つをつくるよりも、徒歩でも行ける範囲の施設を残すことを考えたい。施設をリノベーションしたり、あまり使用されていない部屋は減築するなどして、今ある施設を維持できないか。
- 老朽化した建物を残してリノベーションしただけでは、寒さ・暑さ対策、騒音対策、バリアフリー対策などに限界がある。予算をかけて再整備してもすぐにまた不便になるのではないか。リノベーションだけでは、何年先まで安全に使えるのかと不安にもなる。
- 石山地区センターはこのままワンストップ、多機能な施設としてできると良い。建物に昭和のエモい雰囲気が残っているのが若い世代にとっては魅力なので、もし完全に無くしてしまうとしたらもったいない気がする。

〈施設の複合化（多機能化）〉

- 財政面などを考えると施設の複合化（多機能化）、集約化は必要だと思う。石山地区センターは地域の端にあるので、中心部に新しく多機能の複合施設をつくってはどうか。その場合、江南地区の住民にとっては施設が遠くなり不便になるので、アクセスの対策を考えてほしい。
- 地域の中心にあるシルバーピア石山の周辺に新しく複合施設をつくったらどうか。空いている石山団地を使って用地が確保できると良い。

- シルバーピア石山は雰囲気は暗く、駐車場も狭いので、今の建物に石山地区センターの機能を移転し、新たな多機能施設にするにはそぐわないと思う。
- 越後石山駅はバリアフリー化され、交番もできるので、駅周辺に高齢者だけでなく若者も集える居場所や図書館があれば、誰もが安全に利用できるようになる。地域の新たな複合施設の場所に適した立地だと思う。
- 越後石山駅前に複合施設を建てて、図書館や学習室に加え、カフェやコンビニなどの商業施設も入れられれば、高校生などの若い世代にとって魅力的な施設になるのではないかと。例えば駅の周辺の用途制限を緩めて駅前に10階建て程度の複合施設を建て、下は公共施設、上はマンションにできたら地域が活気づくと思う。
- 越後石山駅に複合化施設を建てれば、駐車場不足の解消も期待できると思う。冬の積雪も考えて立体駐車場にし、駅利用者にも貸し出せば収益につながる。
- 石山南まちづくりセンターと石山地区センターを複合して、多世代にとって利用しやすい施設にできると良い。石山南まちづくりセンターに隣接する園芸センター記念公園の敷地を利用できないか。複合に伴ってアクセスが不便になってしまうことへのフォローは必要だろう。
- 中野山小学校区には緑地が少ないので、園芸公園を一部残しつつ、子ども達が遊んだり、自然に触れ合える場所ができると良い。
- 石山地区センターは中央区の中学校区も含めた周辺地域のハブになっており、中央区ともつながりの強い施設だ。もしこの施設が無くなったら、中央区住民にも影響があることを考慮してほしい。

〈機能の移転・集約〉

- 4つの小学校区からの利便性を考えると、出張所の機能は地域の中心にあった方が良くと思う。移転後の空きスペースは民間に貸してコンビニや喫茶店、直売所などにできると良い。東区プラザのように商業施設が入れば、公共施設にも行ってみようという気持ちになると思う。
- 保健センターと地域包括支援センターを同じ建物もしくは近接して配置できると良い。同様の機能を持った施設が一緒になることで連携がスムーズになり、仕事の効率が上がると思う。

- 大きな図書館を1つつくって内容を充実させ、いろいろな人が訪れる場にしたい。財源が限られているのであれば、石山地区センターの図書館とシルバーピアの図書室は集約してはどうか。
- 単なる図書館だと魅力にかけるが、何か特色があれば利用率の向上につながると思うので、石山地区センターの図書館とシルバーピアの図書室はそれぞれに特色を持たせて維持できると良い。
- 図書館を電子図書館化すれば蔵書スペースがいなくなる。貸し出し返却は複数の施設で対応でき、読める本や教材も増えるので良いと思う。
- 多機能施設であっても、それぞれの機能が高い専門性をもっていることが利用につながると思う。

〈民間活用・既存施設の活用〉

- 公共施設の若者の利用率を上げるためには、コンビニなど公共施設プラス α の機能が必要だ。
- 使わない公共施設を民間に売却すれば維持費がかからなくなり、固定資産税が入って税収も増えるので良いのではないか。
- 石山団地は再編対象の施設には入っていないが、入居者が少なくなっているので、空き部屋をサークル活動や会議に使ったり、空いている棟があるのならば解体し、駐車場や新たな公共施設を建てるなどして効率良く使ったらどうか。

(2) 運営の工夫

- 部屋を借りる際の手続きを簡素化したり、ネットを活用して予約状況を見られるようにするなどの工夫によって、利用率を上げる努力をしてはどうか。
- 施設の概要や利用方法、行われている活動の内容について周知することで、これまで知らなかった人に情報が届き、興味を持ってもらえるのではないか。広報誌の増刷、サークル案内の発行、施設見学、講座のYouTube配信などを行って地域内外に情報発信し、利用率の向上につなげたい。
- 再編対象の4施設には同じような用途の部屋があるので、あまり使われていない部屋は別の用途にするなどして利用方法の見直しをしてほしい。時間帯によって、誰でも使える学習室にするなどの工夫も考えられる。

- 子どもの数が減り、小中学校に空き教室が出てくるのであれば、地域のサークル活動などに開放できると良い。
- 運営委員会的な組織をつくり、地域住民の意見を積極的に取り入れ、施設運営の工夫をすることで利用率の向上がはかれると良い。
- 多機能施設をつくるとしたら、運営を民間に委託することを検討してはどうか。いろいろな条件はあるだろうが、民間の力を使うことで新たな運営のアイデアなどが出ると思う。
- 施設の複合に伴い、アクセスが不便になってしまう層へのフォローが必要だ。学校の空き教室などの既存施設を活用して、複合化したことで区内に不足してしまった機能をサテライト的につくってはどうか。

(3) アクセスの工夫

- 多機能施設をつくるのであれば、駅やバス停に近い立地にすれば車を持っていない人でも使いやすくなると思う。既存施設にも区バスを通すなど、車以外の選択肢を増やすための工夫をする必要がある。
- 石山地区センターなどの駐車場のスペースが限られている施設では、駐車場を立体化してほしい。近年、新潟市内でも積雪量が増えてきているので融雪対応の駐車場も必要だと思う。
- 駐車場が少ないという意見があるが、無断駐車が多いと思うので、施設の利用者が使えるように駐車券式にしてはどうか。

4. 検討の進め方

(1) 計画検討の進め方

- 地域の人口の減少を前提にするのではなく、空き家を整備する等の人口増加のための施策も必要だと思う。人口が増えれば公共施設の利用も増えるのではないかと。
- 現在のサービスを維持しつつ、経済的負担を少なくする必要があるのは理解できたが、負担があったとしても困っている人や地域のために維持しなくてはならない公共施設の機能はあるだろう。ただ単純に経済的負担をなくせば良いわけではないと思う。
- 今後少子化が進み人口も減っていくのだから、施設再編は小学校区で考えるよりも中学校区の範囲で考えた方が良いのではないかと。

(2) ワークショップの進め方

- ワークショップは高齢者の意見ばかりなので、これから公共施設を使っていく若い人の意見を必ず聴く必要があると思う。
- 他の地区の施設にはほとんど行くことがなく、施設のことも良く知らない中で意見を言うのは難しい。具体的な再配置案が提示されたら、それについて意見を言うのは言いやすいと思う。
- 次回のワークショップでは「新潟市公共施設再編案」で公表された石山・東石山地域の案を配布してほしい。ワークショップ意見を反映して出される再配置案と見比べながら議論したい。
- ニュースレター等で意見を募る際は、なぜそう思うのかという理由まで聞いてほしい。